

会議録

会議の名称	令和3年度第3回新城市市長選挙立候補予定者公開政策 討論会実行委員会
開催日時	令和3年6月30日（水）午後6時30分から
開催場所	新城市役所本庁舎3階災害対策本部室2（オンライン会 議）
会議の次第	1 あいさつ 2 報告 3 検討 （1）公開政策討論会の心得 （2）討論方法・討論テーマの検討（市民の声の集め方） について （3）誓約書について 4 その他
欠席委員	なし

1 あいさつ

委員長及び事務局から簡単なあいさつがされた。

2 報告

市民自治会議の答申について

委員長から答申の内容について簡単な説明がされた。

市民自治会議からの検討の要望(1)（新型コロナウイルス感染症の影響により傍聴者の入場ができない場合の対応）及び(2)（ケーブルテレビの積極的な活用）については、現段階において既に検討し、その方向で進めることとなっている旨確認をし、要望(3)（託児の準備等）については、次のように検討がなされた。

委員長	託児については、4年前も託児を準備していましたので同じようにということも考えられますが、今回に関しては、託児による感染拡大になってはいけないということで、コロナ対策をしっかりとした上で託児をお願いするか、リスクを考えて託児を設けないとするかのどちらかと思いますが、いかがでしょうか。 子どもですので、密にならないようどこまで誘導できるのかということには気になるところです。
委員	4年前はどのくらいの利用があったのか分かりますか。
事務局	こちらでは把握していません。
委員長	これまでJ Cでの開催のときも託児を設けましたけど、あまり使われたことはないかと思います。
委員	自分の経験では、過去1回・1人の方の利用があっただけです。
委員長	前例からすると、なくしたら困るということはないように思えます。
委員	コロナ禍で託児を受けてもらえるのですか。
事務局	託児は、いつもファミリーサポートにお願いしていますが、コロナ禍での可否についてはまだ確認をしていません。可能だとは思いますが。
委員	可能ということであれば、子育て世代や若い世代に来てほしいということが自分の思いとしてありましたので、受け入れるスタンス

	を見せる意味でも用意をする方が良いかと思います。
委員長	<p>次回までに事務局の方でファミリーサポートでのコロナ対策を確認してもらって、次回に結論ということでいかがでしょうか。</p> <p>では、そのように進めたいと思います。</p>

3 検討

(1) 公開政策討論会の心得

委員長	<p>仰々しいタイトルですが。</p> <p>これから討論方法等について検討をしていきますが、私のこれまでの経験から、できるだけ白熱した討論になるのが良いのですが、ショーではありませんし、楽しければ良いというものではありません。新城市においては、2000年代当初から討論会を繰り返す中で広く浸透していますので、受け入れられる土壌ではありますが、政治・選挙に関わるということで、非常にデリケートな事業です。盛り上がる討論会にしたいですが、リスクがあるということ・気を付けて進めなければいけないということを経験したいと思っています。資料の中で気になることはありますか。では次へ進めます。</p>
-----	---

(2) 討論方法・討論テーマの検討（市民の声の集め方）について

委員長	<p>今日の話合いのメインですが、討論方法・討論テーマについては、現時点では立候補予定者が分からず、やっと1名出たところで、人数も内容も決まってこないのが、8月後半くらいから作り上げていくことになるかと思っています。今回の条例での運用の中で、市民の方をどのようにして巻き込んで作り上げていくかということに御意見をいただければと思います。</p> <p>これまでの青年会議所の討論会では、青年会議所内で方法・テーマを議論してきましたが、今回は、市民の方をどう巻き込み、どう意識を向けていくのかということが、選挙を通じてまちづくりをしていこうという考え方のポイントになってくるかと思っています。コロ</p>
-----	---

	<p>ナ禍でなければ、ワークショップで市民の声を拾うことができ、内容の濃いものにしていくことができると思いますが、そうはいかないという状況の中で、意見交換をさせていただきたいと思います。</p> <p>市民まちづくり集会がその役割を担う予定でしたが、独自の路線に動いたようで難しそうですので、こちらで独自に声を拾っていきたいと思います。事務局と話をしたところでは、ホームページ・広報しんしろ「ほのか」・無作為抽出によるアンケートでの募集があると考えていますが、何か提案はありますか。</p>
委員	<p>その前に、本来であれば実施したかったというワークショップは、どのようなものを想定していましたか。</p>
委員長	<p>理想・課題や次の市長に期待すること等の声を拾って討論テーマに反映させて、それによって討論会への意識・注目も上がるということで企画できるのかなと思っていました。</p>
委員	<p>収容人数が半分であれば実施できるようにと思いますが、事務局としてはいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>今年度の市民まちづくり集会については、対面でのワークショップの計画を昨年度実施できなかったことを受け、確実に実施するため完全オンラインを予定しています。反対に、公開政策討論会は、傍聴者を入れての開催を予定しており、別の考えで動いています。</p> <p>ワークショップが全くできないとは言えませんが、明確な回答はありませんので、事実のみお伝えします。</p>
事務局	<p>公開政策討論会は一方向的に聴くものですが、市民まちづくり集会は近くで話し合うことになりますので、その違いはあります。</p>
委員	<p>今のお話からすると会話が必要となることが課題かと思います。</p> <p>例えば、思いつきですが、司会者の問いに対してオンラインで回答をしてそれを司会者がそれをまとめる、そういうような方法はあるかなと思います。私がワークショップにこだわるのは、会場で熱を感じてもらう方が、本人の討論会への興味を強めて、また、他の人にその話をして巻き込んだりすることができると思うからです。</p>

委員	事務局に質問ですが、SNSを活用するのが良いと思っていて、公開政策討論会のInstagramのアカウントを作って情報発信と意見募集をすることは可能ですか。Instagramに限りませんが。ワークショップは問題意識の高い方が対象になると思いますが、SNSなら興味の薄い若い方にも間口を広げられるかと思いません。
委員	市民まちづくり集会在9月4日で、討論会の初日が10月2日ですので、スケジュール的に市民まちづくり集会での意見を反映させることはできるのでしょうか。市民まちづくり集会のまとめを立候補予定者に渡してその方が考えをまとめるのに間に合うのでしょうか。できるだけ早くテーマを固めないで難しいように思います。ですので、市民まちづくり集会とは切り離れた方が良いのではないかと思います。
事務局	市民まちづくり集会自体は9月4日ですが、7月16日発行の広報で意見の募集を行い、8月10日を締切りにしてそこから集計を行います。 9月2日までに立候補予定者が参加の申出をした場合には、議題の提案をすることができます。 ですので、両方を利用することが可能です。9月4日の市民まちづくり集会当日の結果については、間に合うかは分かりませんが。
事務局	先程のSNSのアカウントですが、フェイスブックは市のアカウントがありますので利用が可能です。他の媒体については市のアカウントはありません。情報としてお伝えします。
委員	新規のアカウントは可能ですか。
委員長	どこまできちんとしたアカウントとして利用できるかですかね。
委員	アカウントを次回以降に引き継いでいくことができるので、それもありがたかったです。
委員	事務局に伺いたいのですが、9月2日に立候補予定者から議題が出されますが、決定はいつまでにするのでしょうか。スケジュール

	管理としてどうなんでしょうか。今後の検討の参考になりますので。
事務局	市民への周知がありますので、それを考える必要があります。広報紙には原稿が間に合いませんので、「ほのか」に合わせて行政区宛文書として全戸配布又は回覧をすることを想定しています。その発送の準備が15日にありますので、遅くとも14日までには議題の最終決定を行う必要があります。
委員	回覧は2週間では回りきらないところがあります。10月2日より遅くなるかもしれません。検討をした方が良いかなと思います。
事務局	回覧では時間が掛かるかもしれませんが、全戸配布であればどうでしょうか。
委員	区長さんに早めに回すようお願いするしかないように思います。
委員長	広報の方法については、市の仕組・各行政区の動きを考慮しながら検討する必要があるかなと思います。
事務局	現時点においては、全戸配布で考えてはいます。
事務局	よく市が利用する広報の媒体としては、広報紙・行政区宛文書・ホームページ・防災行政無線です。これらを併用することになるかなと思います。どこまで確実かはわかりませんが。
事務局	それとケーブルテレビがあります。 あらゆる手段を利用するしかないかなと思っています。時間のない中で進めていきますので、そこで利用できるあらゆる媒体をということになるかなと思います。
委員	体感としてはですが、ティーズを見ている方は結構いらっしゃって、近代的ではないですがそこで目安箱を設置したので入れてくださいとするのもありかなと思いましたがどうでしょうか。ティーズでいつも流してもらうのが良いかなと思います。宣伝は、どこで目にとまるか分からないもので、人集めは1番難しいです。見ない人は全く見ないですし、広報紙は2世帯の場合には上の世代の世帯

	<p>しか見ません。</p> <p>広報は、あらゆるところでしていくしかないと思うので、例えば市役所の入り口に大きなポスター・目安箱、そういうのも良いかなと思います。近代的な方法や昔ながらの方法の両立かなと思います。</p>
委員長	<p>これまでの討論会は、開催の1月前から具体的に動き始めて、2週間前にプレスリリースをしてというものでした。興味のある方は情報を受け取りますが、選挙・市政に興味のない方には受け取っていただけないということもありますので、できるだけ早い段階から、オンラインもオフラインも含めて色々な媒体で情報を発信していくことで討論会の周知をしていきたいなと思います。討論会の設問・テーマへの市民の声の反映を投げかけることで、それをより強くしていきたいと思います。</p>
事務局	<p>愛知大学の学生の有志が、地域貢献事業をするグループを作っていて、公開政策討論会への協力を申し出てくれており、SNSでの発信ができますよと言ってくれています。実行委員会の皆さんと話ができれば良いなと思っています。</p>
委員	<p>SNSについてですが、公開政策討論会のアカウントを作るよりも、色々な方に広報していただく方が幅広い方に伝わるかと思います。公開政策討論会のアカウントがあってもそれをフォローしていないと情報が届かないので。行政関係のアカウントをフォローしている人はあまりいないと思います。また、SNSでの募集では、市民以外の方でも意見を言ってしまうので、意見集約としては利用しづらいかと思います。</p>
委員	<p>討論方法・討論テーマの具体化は、どうなるのでしょうか。</p>
委員長	<p>討論方法・討論テーマの検討については、現時点において表明をしている方が1人で見込みがつかないため、ある程度揃ってきてからでないか難しいかと思いますので、次回以降にしたいと思います。スケジュールとしては、立候補予定者の議題の提案時点まで検</p>

	<p>討ゼロの状態ではそこからが大変ですので、立候補予定者の政策を見て、多少事前に絞り込みたいと思っています。</p> <p>テーマの絞り込みは、J Cの頃も時間を掛けましたし、今回も推薦委員が実行委員会に入って大人数での議論になりますので、合意を得るのは難しくなるかと思います。4年前もテーマ選定は1回の会議で3時間・4時間かけて複数回というふうに聞いていますので、事前準備をして時間を掛けて選定することになるかなと思います。</p>
委員	4年前の雰囲気はどのような感じでしたか。
委員	4年前は、自分たちの有利なようにというような、ぶつかり合いみたいなものはなくて、良い討論会にしようという中で、それぞれの政策を読んで絞り込んでいくという作業をしました。私も、現時点において討論方法・討論テーマを決めるのは難しいかと思います。
委員	私の実感としては、意見を言いたい方は多いと思います。人が集まれないということが課題ですので、例えばですが、Z o o m会議のような形で、市民の方がいつでも参加できて、言いたいことを言って去っていくような場があれば、それが広まって関心を持ってもらえるような気が漠然としています。気軽に意見が言える場を連日作れば盛り上がるような気がします。
委員	ワクチン接種がありますので、それを活用することはできないですかね。ワクチン接種の会場に言える場を作るみたいな、毎日では大変なので特定の曜日だけとか。
委員長	オンライン上の座談会会場を常設するイメージですかね。
委員	そうですね。Z o o mは録画できますので、意見を集約できたらと思います。
委員長	市民まちづくり集会等を見ていると意見を持っている市民の方は多い印象です。そういった方の声を拾いながらつなげていくとよりまちづくり的になるかと思いますが、そういった仕組みができる

	かですね。
委員	<p>会場で市民の意見をもらう仕組みはJ Cのイベントでもしてきましたが、根拠のないことを述べる方もいて、臆測で話をされると怖いかなと思います。言える場は大事だと思いますが。</p>
委員長	<p>市民の意見を集めるのは良いけれども、採用されなかったときにそれがクレームにつながりやすいので気をつけなければいけないということが本に書かれていました。市民の意識高揚のために声を集めたいですが、どう活かすかというところまでしっかりと構築しておかないと振り回されることになるかと思います。</p> <p>市民の間で討論会が話されるようにまでなれば、討論会・選挙の流れがこれまでより創れるかと思います。</p>
委員	<p>若者などの特定の人が意見を言える日・特定のテーマの日などそういうキャンペーンを毎週設定して、集約が大変ですが、具体的に分けてみれば言いやすく、面白いと思います。</p>
委員	<p>可能かどうかわかりませんが、人が集まるものとしては地域協議会かなと思いましたので、そこから発信してもらうのも1つの手段かなと思います。難しいとは思いますが。</p> <p>Z o o mとなると若い人に限られてしまって、地域協議会は年配の方が多いので。</p>
委員	<p>地域協議会で話し合うとするとスケジュール的に難しいと思います。複数回開催しないとできないのではないかと思います。また、特定の地域の課題になりやすくなってしまわないかと思います。</p>
委員	<p>地域協議会では、地域の課題を話していますが、その課題を話す中で、特定の地域だけの課題もありますが、市全体の課題も出てきて、そこをすくい上げるのはできるかと思います。</p>
委員	<p>そうすると、地域意見交換会では色々な問題が挙げられますが、それを利用するのも1つの方法かと思います。新しい取組をしようとする時間が掛かってしまいます。テーマ別に分類してみたら良</p>

	いのではないかと思います。
委員	少し分からなくなってきましたので確認なのですが、今話している内容は、市民をどう巻き込んでいくかということによろしいですか。
委員長	はい。
委員	<p>キャラバンやワークショップなどそういったことの可否は事務局に調べていただくとしても、市民の巻き込み方の議論をしたいと思います。</p> <p>先程、愛知大学の学生からの協力の話がありましたが、実行委員会の枠を出て、今のうちに協力団体を固めて、SNS等を実行委員会と連携している外部団体に活用してもらうなどとして、市外の人意見が入ってしまうという話がありましたが、より多くの意見を集めるということであれば良いのかなと思います。</p>
委員	SNSで市外の人意見が入るとするのは逆に良いのではないかと思います。新城を好きな人は市外にもいて、自分の市ではこうですという意見があっても枝葉が広がって良いのではと思います。
委員	先日、東三河地域での男女共同参画の市長参加の懇談会が市であったようで、市長とこんなに話せることは珍しいと市外の方に評判が良かったようです。他市の方を巻き込んだりするのは良いのかもしれません。余分な話もあるかもしれませんが。懇談会の話聞いたときにそう思いました。
委員長	ほかにありますか。なければこの話は次回までに事務局と整理して次回に諮りたいと思います。
委員	できれば次回の検討内容は、数日前ではなく、早く情報をいただければと思います。
委員長	早めにしたしたいと思います。

(3) 誓約書について

委員長	では、次の誓約書の話に移りたいと思います。事務局から説明を
-----	-------------------------------

	お願いします。
事務局	実行委員会は基本原則に則った運営をする必要があるということで、市民自治会議から誓約書の提出を求めているかどうかという意見があったことを、第1回の会議でお伝えしました。今後、推薦委員が実行委員会に入ることになりますが、その方たちも含めて誓約書を書いていただいて公正・公平に進めていくということですが、案をお送りしましたので、協議していただければと思います。
委員長	市民自治会議からの意見もあったということで、誓約書を書くことに、また文面に、御意見がなければ、この方向で進めようと思えますがいかがでしょうか。
委員	現在の案では宛先がありませんので、誰に対する誓約であるのかわかりません。
委員長	市長あてになるのでしょうかね。
委員	そうなると思います。
委員	印は押しますよね。
委員長	いただきたいです。
委員	そうすると印の記載が必要かと思います。
委員	中立の判断が難しく、これを書くことで堅苦しくなるかなと思いました。
委員	本来は、委員への応募の段階でそうあるのが前提かと思います。4年後に委員を募集するときには、そのときに記載していただくようにするのが適切だと思います。
事務局	応募の際の記載というのは、そのとおりだと思います。
委員長	確かに議論のタイミングとしては、現時点は遅いと思います。今後、各陣営からの推薦委員が入りまして、そちらには誓約書を提出してもらい、自分たちは提出していないというのはおかしいですので、提出することで良いと思いますが、いかがでしょうか。
委員	書くことに問題はありますが、日付は委嘱の日が良いかと思

	ます。委員になったときから公平・公正にと進めてきましたので。
委員長	では、宛先と印の記載をし、日付を委嘱の日として提出すること でよろしいでしょうか。ではそれで進めたいと思います。

4 その他

(1) 広報

ティーズのほのかだより（7月28日（水）から8月4日（水）まで放送）で
広報をする委員は、鈴木委員長、生田委員及び原田委員となった。

(2) 次回の日程

7月14日（水）午後6時30分から（オンライン会議）

閉会